

第27回関東甲信越糖尿病セミナー報告

セミナー代表世話人



日本糖尿病協会
埼玉県支部 支部長

河津 捷二



埼玉県糖尿病協会
会長

磯松 幹夫

平成20年11月16日（日）さいたま市大宮ソニックシティにおきまして、第27回関東甲信越糖尿病セミナーが開催されました。

当日は小雨が降りあいにくのお天気でしたが、700名を超える方々にご参加いただきました。

大ホールでは一般の方を対象としたプログラムで進みました。国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室長の坂根直樹先生による基調講演では「糖尿病とはどんな病気？どうしたらよいのか？」をテーマに自分の現在の状態により、それぞれ自分に合った長く続けられる予防法や治療法を見つける事が大切だと教えて頂きました。そして女子栄養大学実践運動方法学研究室の金子嘉徳先生より、効果的な運動を教えてください、埼玉医科大学栄養部の金胎芳子先生からは、実際に生活習慣の改善に役立つ食事の摂り方を教えてください大変参考になりました。

そして午後からのランチョンアワーでは、連弾

のピアノ演奏がとてもすばらしく心穏やかな気持ちになりました。埼玉社会保険病院名誉委員長の鈴木裕也先生、埼玉医科大学総合医療センターの矢澤麻佐子先生をはじめとする医療スタッフの方々に会場からの質問や相談に答えて頂き会場の皆さんも共感を持たれていたようです。

特別アワーでは「さかえ」にも掲載されておりました俳優の安西正弘さんから、ご自身の経験談を聞き病気の恐ろしさを改めて知る事ができました。その苦難にも負けずに活動していること、そしてすばらしい歌声に感動しました。

シンポジウムでは根岸内科代謝クリニック院長の根岸清彦先生をはじめとする医療スタッフの方々から、尿糖自己測定を活かす方法そして栄養管理の面では市販総菜の活用テクニック、お薬を正しく使う事の大切さ、シックデイ時の具体的な対処方法について、腹囲の正しい測定方法など日々生活の中で活かせることを教えてください大変す

安全で簡単な血糖測定を考えました。



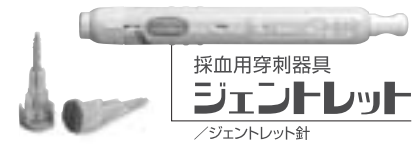
小型血糖測定器
グルテストEブリ
／グルテストセンサー



小型血糖測定器
グルテストNeoスーパ-
／グルテストNeoセンサー



ディスポーザブル採血針
アイピット



採血用穿刺器具
ジェントレット
／ジェントレット針

販売元
株式会社 三和化学研究所
SKK 名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631

●ホームページ <http://www.skk-net.com/>
●グルテスト情報サイト <http://www.glutest.com/>

製品の取扱いに関するお問い合わせは **ハイサンワ**
0120-07-8130 365日24時間
お受けいたします

ばらしい内容でした。

そして患者体験談として3名の患者さんのお話を聞く事ができ共感すると共にコントロールしていくためのヒントがたくさんあり、励みになった方がたくさんいらっしゃったと思います。

小ホールでは医療従事者の方を対象としたプログラムで進みました。糖尿病治療をテーマに埼玉社会保険病院副院長の丸山太郎先生に糖尿病の臨床病態その段階をどう捉えどう対応していくかを教えて頂きました。埼玉医科大学の犬飼浩一先生には糖尿病治療の新しい展開とそのエッセンスとして治療の目標はどこに置くのか、何を重点的に診ていく必要があるのかを教えて頂きました。獨協医科大学の麻生好正先生には糖尿病性血管合併症の予防および進展阻止のための治療戦略を教えてくださいました。埼玉医科大学総合医療センターの松田彰先生、社会保険病院の村岡知美看護師さん

から医療スタッフとして教育入院、専門外来から学ぶことを伝えて頂きました。日本歯科大学病院の齋藤宣彦先生からは、教育チーム医療の原点「医療人が治すのではない」「糖尿病を治すのはあくまでも患者さんである」良好なコントロールを医療チームが支援するという事からCDEJの具体的な活動を教えて頂きました。パネルディスカッションでは、埼玉医科大学の栗原進先生、雨宮伸先生、獨協医科大学臨床検査部の小関紀之先生、さつき内科クリニックの柳澤守先生、防衛医科大学の田中祐司先生に「これからの療養指導のあり方そして何をすべきか？」について各先生方に教えて頂きました。

今回のセミナーの開催にあたり、後援団体をはじめとする多くの団体、企業の皆様にも多大なるご協力と応援を頂きました。厚く御礼申し上げます。

事務局 横田富子



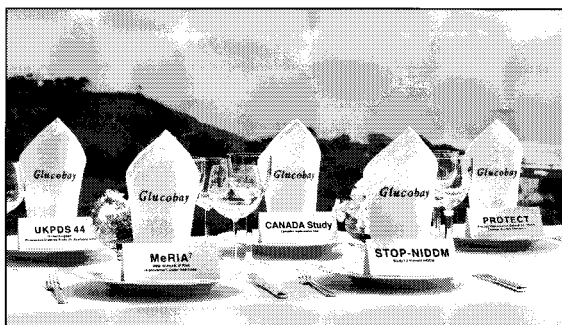
予 告 第28回関東甲信越糖尿病セミナー

◆ 日 時 ◆

平成21年(2009年)11月8日(日)

◆ 会 場 ◆

前橋市民文化会館(群馬県)



効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

食後過血糖改善剤

グルコバイ錠

●50mg ●100mg (アカルボース製剤) 薬価基準収載
指定医薬品 処方せん医薬品

注意-医師等の処方せんにより使用すること。



すこやかな血管をめざして
バイエルは、アカルボース製剤に特許を持っています。
Cardiovascular
Risk Management



資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市淀川区宮原3-5-36 〒532-8577
<http://www.bayer.co.jp/byl>

